

# 第1章 巻頭特集

本章は、大阪自動車環境対策推進会議の取組みから、平成 26 年度のおおさか交通エコチャレンジ賞受賞者の取組みと平成 25 年度におけるエコカー普及の取組結果について紹介するものである。

## 1 第3回 おおさか交通エコチャレンジ賞表彰式を開催！

「エコカー使用等の推進」「エコドライブの推進」「公共交通機関利用の推進」といった環境に配慮した自動車利用を推進する事業者のうち、特に優れた取組みを行った事業者に与えられる「おおさか交通エコチャレンジ賞」の受賞者の表彰式を行った。

- と き : 平成 26 年 12 月 25 日 (木曜日)  
11 時 00 分から 11 時 30 分
- と ころ : 大阪市役所 P 1 会議室 (屋上階)  
(大阪市北区中之島 1-3-20)



第3回表彰式の風景

### (1) 優秀賞【エコカー使用等の推進部門】大塚製薬株式会社大阪支店 (取組概要)

乗用車 188 台、小型貨物車 27 台を保有し、そのうち 157 台がエコカー (ハイブリッド車・超低燃費車)。平成 19 年度からエコカー導入を開始。車両の7割以上はリース車両で、リース車両の選定にあたっては、社内で超低燃費車をメーカー別にリストアップしている。その結果、リース車両のエコカー率は平成 25 年度 94%。また、社員の営業用及び通勤用の自家用車を、会社で借り上げ (56 台) ているが、就業規則により原則5年以上のものは借り上げしていない。

また、全社的に平成 24 年度から各ドライバーがその日の運転日報 (走行距離、燃費等) を入力するシステムを導入している。大阪支店では、同システムのデータから、独自にわかりやすく集計し、社員に提供することで、社員の意識高揚を図っており、大阪支店のエコカー導入率及び燃費は全国支店の平均より高い。



## (2) 優秀賞【エコドライブの推進部門】株式会社GE

(取組概要)

乗用車1台、貨物車3台の合計4台を保有。

平成18年度からエコドライブの取組みを行っており、年間目標値は、燃料使用量の削減比率について平成24年度目標値を基準として28年度までの中長期目標に基づいて設定している。エコアクション21委員の総務・計量グループがエコドライブを推進。

燃費結果は毎月のエコアクション21委員会で報告するとともに話し合う。その後、毎月の全員参加型の内部コミュニケーション会議で周知と意見交換を行う。

環境活動の従業員教育に重点を置いており、走行距離の大きい10tコンテナ車の燃費が活動当初より向上して維持できている。

また、大型車のエコドライブ実車講習を開催し、アイドリングストップを重機使用時にも行うとともに来客者にも協力要請している。



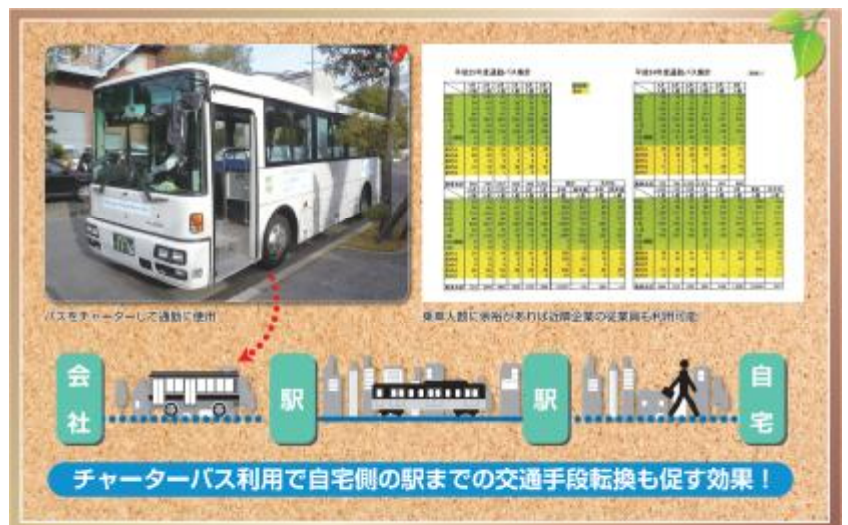
## (3) 優秀賞【公共交通機関利用の推進部門】堺市化学工業団地協同組合

(取組概要)

最寄り駅から6km離れた立地のため、バスをチャーターして通勤に使用している。

各社代表者で年5回開催される理事会でエコ通勤を協力依頼するとともに、毎月開催される青年部で通勤バス利用・エコカー買替えを啓発している。平成25年度の通勤バス利用率は2割弱。通勤バスは組合構成会社だけでなく、乗車人数に余裕があれば近隣企業の従業員も利用可能な仕組としている。

今後、近隣2企業と共同運行を予定しており、従来の3台(組合+2社)での運行を、中型1台での運行に切り替え、便数増加と利用料金の引き下げを行っていく。



## 2 平成 25 年度における大阪自動車環境対策推進会議のエコカー普及の取組結果 ～平成 27 年度の目標台数を達成！～

大阪自動車環境対策推進会議では「大阪エコカー普及戦略」※1を策定し、平成 32 年度に大阪府内の自動車の 2 台に 1 台をエコカーとする目標を掲げ、エコカーの率先導入やインフラ整備、展示・試乗会に取り組むとともに、大阪府ホームページや報道提供を利用したイベント情報の周知や、メールマガジン※2によるエコカーの補助金情報等を紹介している。

平成 25 年度末時点の大阪府内エコカー普及台数の実績等を以下のとおり取りまとめた。

### (1) エコカー普及台数の推移と目標達成状況

平成 32 年度のエコカー普及目標（2 台に 1 台）に向け、平成 25 年度には普及率 20%にまで普及が進み、平成 27 年度の目標を 2 年早く達成した。

☆平成 27 年度の目標台数を、平成 25 年度に達成！

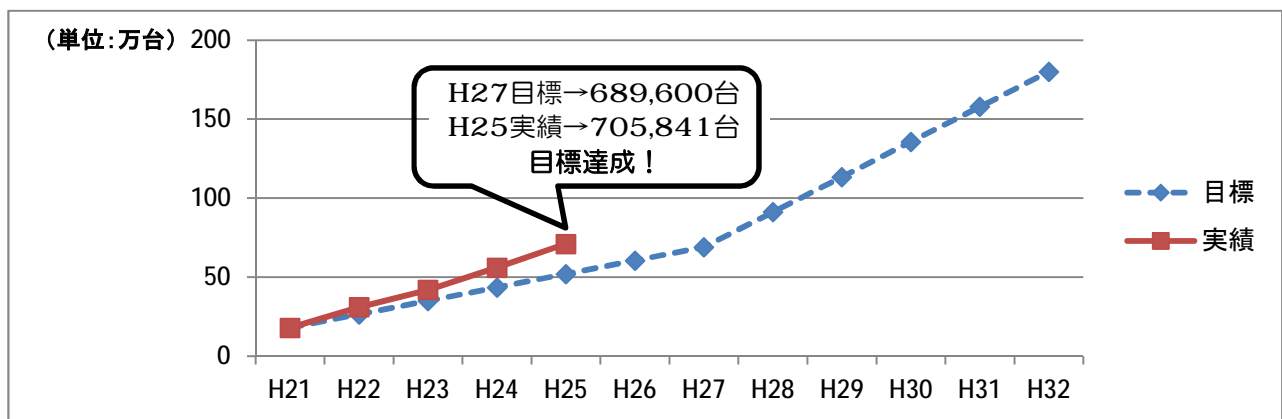


図 1-1-1 「府内のエコカー普及台数 目標と実績」

#### ※1 「大阪エコカー普及戦略」

地球温暖化対策として、二酸化炭素総排出量の 15%を占める自動車部門に焦点を当て、環境負荷の少ないエコカーを普及促進させることで、二酸化炭素の排出を削減しようとする戦略。

#### ※2 「おおさか自動車環境対策ニュース」

府民・事業者のみなさまを対象に、エコカーのイベント情報やエコドライブのポイントなど自動車に関するお役立ち情報を配信。登録者数 1,669 人（平成 27 年 1 月末時点）



表1-1-1 府内のエコカー普及台数（二輪を除く）

（単位：台）

年度 車種	H21	H22	H23	H24	H25	H27 目標	H32 目標
ハイブリッド自動車	50,534	76,141	111,846	156,673	211,721	98,600	174,400
電気自動車（EV）	316	516	1,026	1,715	2,260	6,900	30,600
プラグインハイブリッド 自動車	6	8	193	706	1,121	4,700	21,700
天然ガス自動車	5,380	5,228	4,994	4,696	4,134	9,600	12,100
クリーンディーゼル 乗用車	164	615	1,070	3,459	7,738	9,600	37,200
超低燃費車※3	121,677	228,013	301,293	388,804	478,863	560,200	1,519,000
燃料電池自動車 （FCV）	1	1	3	3	3	設定なし	設定なし
水素エンジン自動車	0	1	1	1	1	設定なし	設定なし
合計	178,078 (5%)	310,523 (9%)	420,426 (12%)	556,057 (16%)	705,841 (20%)	689,600 (20%)	1,795,000 (51%)

## ※3 超低燃費車

ガソリンやディーゼル車で2010年度燃費基準+25%達成車または2015年度燃費基準達成車以上の燃費性能を有する自動車をいう。ただし、軽自動車等を除いた数値。

## 【車種別台数の推移等】

- ・ハイブリッド自動車は平成32年度目標を達成した。
- ・クリーンディーゼル乗用車は、昨年度に続き2倍以上増加した。
- ・燃料電池自動車（FCV）は、平成26年12月15日に一般発売され、これからの伸びが期待される。
- ・近年、天然ガス自動車は減少傾向にある。

## （2）最近のエコカー動向 ～平成27年を新たなエコカー元年に！～

- ・日産自動車（株）：平成26年10月からバンタイプの電気自動車の販売を開始。
- ・トヨタ自動車（株）：平成26年12月15日から究極のエコカー、燃料電池自動車の一般販売を開始。
- ・その他、輸入車の電気自動車の販売も開始。



日産 バンタイプの電気自動車



トヨタ 燃料電池自動車